作成日 ： 2026/08/10

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ：

製品名称 ：GLUCONIC ACID R1

製品番号 ：300581（GLUCONIC ACID_Wine/10Tests,/100Tests 300583、300580 の構成品）

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 ： 研究用試薬

使用上の制限 ： 推奨用途以外への使用は禁止する。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 :キコーテック株式会社

住所 :〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-4-17 箕面千里ビル6階

担当部署 :事業開発部

電話番号 ：072-730-6790

FAX ：072-730-6795

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示 :該当しない

注意喚起語:該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
塩酸	7647-01-0	0.1	1-215
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.2～0.6	1-482

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

危険有害成分

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

塩酸

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医療処置を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医療処置を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
飲み込んだ場合：医療処置を受けること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

火災時の特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。
霧状水により容器を冷却する。
消火水の下水への流入を防ぐ。
安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。
消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防炎服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

二次災害の防止策

汚染個所を水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
（局所排気、全体換気）
空気中濃度をばく露限界以下に保つために、適切な全体換気または局所排気装置を使用すること。
（注意事項）
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避データなし
衛生対策
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
2～8℃で保管すること。
（避けるべき保管条件）
日光から遮断すること。
安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
職業ばく露限界値
日本産業衛生学会
(塩酸)
(最大許容濃度) 2ppm; 3.0mg/m3
ACGIH
(塩酸)
Ceiling: 2ppm (上気道刺激)
(アジ化ナトリウム)
Ceiling: 0.29mg/m3(as Sodium azide); Ceiling: 0.11ppm(as Hydrazoic acid vapor) (心臓障害; 肺損傷)
設備対策
全体換気装置又は局所排気設備を設置した場所で取扱う。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。
保護具
呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
化学防護手袋 推奨材質:不浸透性もしくは耐化学品ゴム
眼及び/又は顔面の保護具
側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具
化学防護服

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　　：液体
色　　：無色
臭い　　：無臭
臭いの閾値　　：データなし
融点/凝固点　　：データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲:データなし
可燃性　　：燃焼しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 ：適用外
引火点　　：＞60℃
自然発火点　　：適用外
分解温度　　：データなし
pH　　：8
動粘性率　　：データなし
溶解度:
　水に対する溶解度　　：混和する
　溶媒に対する溶解度　　：データなし
n-オクタノール/水分配係数　：データなし
蒸気圧　　：データなし
密度及び/又は相対密度　　：データなし
相対ガス密度(空気=1)　　：データなし
粒子特性　　：適用外

10. 安定性及び反応性

反応性
　反応性　　：データなし
化学的安定性
　通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
　危険有害反応可能性　：データなし
避けるべき条件
　避けるべき条件　　：データなし
混触危険物質
　混触危険物質　　：データなし
危険有害な分解生成物
　危険有害な分解生成物 ：データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
　急性毒性(経口)

[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
ラット LD50: 238 - 277 mg/kg
(アジ化ナトリウム)
ラット LD50: 45 mg/kg

急性毒性(経皮)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
ウサギ LD50: > 5010 mg/kg
(アジ化ナトリウム)
ウサギ LD50: 20 mg/kg

急性毒性(吸入)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
ガス: ラット LC50: 4.2 mg/L (60分間)(4時間換算: 1411 ppm)
エアロゾル: ラット LC50: 1.68 mg/L (1時間)(4時間換算: 0.42 mg/L)
[会社固有データ]
(塩酸)
ガスのデータに対して、本製品はGHSの定義では液体に該当するので「区分に該当しない」とした。

皮膚腐食性/刺激性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
区分 1
(アジ化ナトリウム)
区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
区分 1
(アジ化ナトリウム)
区分 1

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし

皮膚感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。

[成分データ]
データなし
生殖細胞変異原性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし
発がん性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
[IARC]
(塩酸)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(塩酸)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない
(アジ化ナトリウム)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし
誤えん有害性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(塩酸)
魚類 (コイ) 96時間 LC50: 4.92 mg/L (pH: 4.3) (OECD TG 203)
甲殻類 (オオミジンコ) 48時間 EC50: 0.492 mg/L (pH: 5.3) (OECD TG 202)
藻類 (ラフィドセリス属) 72時間 ErC50: 0.492 mg/L (pH: 5.3) (OECD TG 201)
(アジ化ナトリウム)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 96時間 ErC50: 348 μg/L

水溶解度

(塩酸)

67 g/100 mL (30℃) (出典: ICSC, 2016)

(アジ化ナトリウム)

41.7 g/100 mL (17℃) (出典: ICSC, 2014)

残留性・分解性

[成分データ]

(アジ化ナトリウム)

急速分解性なし (分解度: 1% (by HPLC)) (出典: NITE)

生体蓄積性

[成分データ]

(塩酸)

log Pow: 0.25 (出典: ICSC, 2016)

(アジ化ナトリウム)

log Pow: < 0.3 (出典: NITE)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

UNRTDG

国連番号	: 該当しない
品名 (国連輸送名)	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号	: 該当しない
品名 (国連輸送名)	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号	: 該当しない
品名 (国連輸送名)	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）　：非該当

環境有害性物質/混合物（該当/非該当）：非該当

特別の安全対策

直射日光、雨にばく露されないように運搬する。

転倒、荷崩れ、落下等に注意すること。

IMOによるばら積み輸送される物質

本品はバルク輸送されない。

国内規制

国の特定の法規制は、項目15を参照する。

15. 適用法令

該当法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称通知危険/有害物

塩酸(規則別表第2の309)

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

労働基準法

疾病化学物質（規則別表第1の2第4号1）

塩酸; アジ化ナトリウム

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

大気汚染防止法

ばい煙 有害物質 政令第1条第1号から第5号

塩酸(政令第1条第2号)

特定物質 政令第10条第1号から第28号

塩酸(政令第10条第9号)

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

水質汚濁防止法

指定物質

塩酸(法令番号5)

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN

IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第67版 (2026年)

2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2026 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2025

JIS Z 7253 : 2025

許容濃度等の勧告（2025年度）(日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和6年度 (2024年度) 公表分まで))です。